

# 営農君のいきいきアドバイス

## ジャガイモの育て方

ジャガイモは健康に欠かせないビタミン、ミネラルの他、おなかをきれいにする食物繊維を多く含むナス科の野菜です。原産地は中南米で日本には1598年にオランダ人が長崎に持ち込んだのが最初だとされています。ジャガイモの由来は諸説ありますが、ジャワのジャガトラ港経由(現ジャカルタ)で持ち込まれたため「ジャガタラ芋」と呼ばれていたものがジャガイモになったという説があります。

生育適温は15～25℃です。春植えと秋植えの年2回植え付けができますが今回は比較的育てやすい春植え(表1)をご紹介します。

表1 栽培暦

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
定植	■											
収穫				■								

### 1. 種イモの準備

種イモは1個が50gまでであれば切らずにそのまま植え付けます。50g以上の大きいものは、芽が出ている場所を残して縦切りにします。切り口から腐りやすいため草木灰をつけて予防するか、2～3日陰干しして乾かしてから植え付けます。

### 2. 植え付け

植え付けは、春(3月中旬～4月上旬)。植え付ける2週間前に堆肥2kg/m<sup>2</sup>を入れて耕します。また、1週間前には化成肥料150g/m<sup>2</sup>を入れて幅70cmの畝を立て、畝の真ん中に深さ10cmの植え溝を掘ります。溝に30cm間隔で種イモの切り口が下になるように植え付けます。全て植え終えたら埋め戻します。その際、雨水が溜まってしまうと種イモが腐る原因となるため周囲より5cmほど高く土を盛り上げ水が溜まらないようにしましょう。

### 3. 芽かきと土寄せ

芽の数が多いほど多くのイモができる反面、養分が分散して1個当たりのイモの大きさが小さくなってしまうため、芽が10cm程度に伸びたら芽の数を減らす「芽かき」を行います。株元を種イモが動かないようにしっかり手で押さえて、茎が太く色が濃い丈夫なものを2～3本残し、土の下の方で芽を切るように引き抜きます。このとき除草を兼ねて軽く土寄せします。

### 4. 2回目の土寄せと追肥

草丈が30cmほどに成長したら、化成肥料40g/m<sup>2</sup>を追肥します。そのとき倒伏防止とジャガイモが露出して日に当たるのを防ぐため、畝がかまぼこ状になるように土寄せをします。土寄せは収穫まで1～2週間おきに繰り返し行います。(写真1)

ジャガイモは光が当たると緑色に変色し、有害なソラニンが生成されます。食べると腹痛などの中毒症状を引き起こすので注意しましょう。

### 5. 病害虫

暖かくなるとテントウムシダマシなどの害虫が出始めます。葉裏や株元の落ち葉の下など細かく観察し、見つけたら捕殺しましょう。

土壌酸度がアルカリ性に傾くと、そうか病が発生しやすくなるので石灰質資材の施用は控えましょう。そうか病にかかるとイモの表面にかさぶたのような病斑ができます。1度病気になったら防除できませんが、皮を厚くむけば食べられます。

### 6. 収穫

茎葉の7～8割が黄色になったら土が乾いているときに収穫します。土が湿っているときに収穫するとカビが発生します。また、傷がつくと菌が入り腐りやすくなりますので注意が必要です。掘り上げ後は、腐る原因になりますので土を落とすための水洗いはせず、2～3時間乾かしてから、暗くて涼しい場所に貯蔵します。食べる直前に洗いましょう。また、収穫後も光(蛍光灯も含む)があたるとソラニンが生成されます。遮光ネットを被せるなどしましょう。

参考:サカタのタネ.園芸通信.初心者向け!ジャガイモの栽培方法・育て方のコツ。  
[https://sakata-tsushin.com/yomimono/tokushu/20170427\\_005852.html](https://sakata-tsushin.com/yomimono/tokushu/20170427_005852.html),(参照2021-10-29)。



写真1 定植後、7週間目

パンチ

パンチ